

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

・児童の安心で安全な環境づくりの観点から現在の人的配置では限界を感じる。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

・17年度から、交通児童遊園の1日開園日（土日曜日、夏休みなど）を従来の昼1時間（12時～1時）休園から1日を通して開園とした。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2 点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	交通児童管理運営は、従来どおり、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、継続していきたい。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

交通児童管理運営は、従来どおり、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、継続していきたい。

